

平成28年度 学校だより (第20号)

木立見 こだちみ

校訓 ～ 強く 正しく 美しく ～

平成29年 3月24日 発行



発行者 出口 伸雄

足利市立西中学校 62-2230

3月24日(金)は、平成28年度の修業式となります。

2年生は、卒業生が築いてくれた良き伝統を引き継ぎ、後輩の手本となり、西中学校を代表するような最上級生になってほしいと思います。また、1年生は、新入生に対し、

優しく、頼りになる2年生になってほしいと思います。保護者の皆様には、1年間、大変お世話になりました。お子さんが安心して、楽しく過ごせるような学校を目指して、全職員で誠心誠意、取り組んでまいりました。いろいろ不手際や課題もありました。今年度の反省をもとに、さらにステップアップした西中学校になるように励みたいと思います。



祝卒業～自分を信じ、エールを送り、挑戦を！



3月9日(木)、足利市副市長「池澤 昭 様」、足利市教育委員会事務局参事学校給食課長「松島 繁 様」をはじめ、たくさんのご来賓並びに保護者の皆さまのご臨席のもと、第58回卒業式を行いました。在校生代表「2年女子生徒」の心のこもった送辞、卒業生代表「3年男子生徒」の友や後輩への感謝の気持ちが込められた答辞、「桑山弘和PTA会長 様」からは、～人生は挑戦の連続であり、挑戦する上で

大切なことは自分を信じること。なぜならば、一番の応援団は、あなた自身であるから。壁にぶつかったら、自分を信じ、自分にエールを送り、挑戦し続けてほしい。～と祝辞をいただきました。心に残る感動的な卒業式となりました。

校長式辞(抜粋)

農学博士「田中 修さん」が書いた本、「植物のあっぱれな生き方」に、こんなことが書かれていました。まだつぼみを宿す前のアサガオの鉢植えを2つ用意し、ある一定期間、一つの鉢植えには、光を絶え間なく当てます。もう一つの鉢植えには、箱で覆って光を与えないでおきます。その後、箱を取り去った状態で、両方に等しく光を与え続けると、つぼみをつけて花が咲くのは、光を与えず暗闇においた鉢植えの方だそうです。また、チューリップの球根は、夏のうちに球根の中につぼみを宿します。しかし、そのまま暖かい中で育てても開花はしないそうです。芽が出て開花する球根は、10度以下の低温に3から4ヶ月さらされた球根だそうです。このように植物は、暗闇の夜を過ごしたり、長く寒い風雪の試練を乗り越えて、ようやく芽が出て、つぼみを宿し、花が咲くのです。生き物には、体内で時を刻み、生活のリズムを整える仕組みがそなわっています。「生物時計」というものです。人も生き物です。苦難や挫折により人が磨かれていくのは、植物と同じく針が暗闇の夜や寒い冬を感知している証なのです。



4月から新しい世界に旅立つみなさんが、そのもてる力を十分に発揮し、夢や目標を実現することを願ってやみません。しかし、嬉しいことや幸せなことばかりではありません。必ず、辛く苦しい時期があります。辛い時、苦しい時は、暗い夜から輝く朝日が昇るまで、あきらめず、希望を持ってじっと耐えてください。必ず希望の光が指してくるでしょう。

自信と誇りを持って歩いて下さい！ 送辞「2年女子生徒」



先輩方は、たくさんの学校行事を通して、私たちに何事もコツコツ取り組み、団結する素晴らしさと、たくさんの感動を与えてくださいました。私たちは四月から、西中をリードしていく立場となります。何事にも、全力で取り組む姿勢を受け継ぎ、新しい後輩たちにバトンを渡せるよう努力していきます。今日、先輩方は西中学校を卒業され、一人一人が、それぞれの道を歩いていけます。これから先輩方が歩いていかれる道の先には、様々な困難や苦労があることと思いますが、この西中学校での活躍を思い出して、自信と誇りをもって人生を歩いてください。

私たちの絆・友情は一生のもの！ 答辞「3年男子生徒」

私たちの三年間は、常に誰かに支えられていました。私たちに関わってくださった全ての方々のおかげで、私たちは今、ここにいます。先生方、私たちを正しい方へ導いてくださり、ありがとうございました。優しさだけでなく、時には厳しさをもって接し、どんなときでも私たちを信じ、支えてくださった先生方には、本当に感謝しています。先生方の教えを胸に、力強く前へ進んでいきたいと思えます。三年間ありがとうございました。在校生のみなさん、私たちは、みなさんのおかげで、先輩としての自覚を持ち、がんばることができました。部活動や委員会など様々な場面で、支えてくれました。本当にありがとう。このような時を迎えて初めて、当たり前の日常が、どれだけ貴重なものであったかを、強く感じています。在校生のみなさん、今は大変に思っていることも、一年後には、とても良い思い出になります。一日一日を大切に、仲間と共に充実した学校生活を送ってください。お父さん、お母さん。どんな時でも私たちを応援し、支え、力強く背中を押し続けてくださって、ありがとうございました。面と向かってなかなか言えませんが、一番の理解者である家族のことが大好きです。いつも心配をかけたり、困らせたりしてごめんなさい。これからも迷惑をかけてしまうと思いますが、いつまでも、温かく見守っていてください。よろしくお願ひします。共に卒業する三年生のみんな。みんなと出会えて本当に良かったです。みんなと過ごす毎日が、何よりも楽しかったです。そんなみんなと別れるのが、とても寂しいです。今は離ればなれになるけれど、私たちの絆・友情は、一生のものだと思います。たくさんの思い出を作り、共に笑い合ったみんなは、最高の仲間でした。本当にありがとう。今日、私たちは卒業します。明日からは、それぞれの夢に向かって、違う道を歩いていきます。時には大きな困難に突き当たることもあるでしょう。しかし、「強く・正しく・美しく」この校訓を忘れず、西中生としての誇りを胸に、突き進んでいきたいと思えます。



第2回学校評議員会

3月14日（火）、第2回学校評議

委員会を行いました。今年度の学校経営をふりかえると共に、学校評価結果とその分析、次年度の年間予定などを説明しました。その後、学校への意見、質問、要望等をいただきました。就学援助、集金未納問題、中学生ボランティアの活動、家庭学習の充実、校外での様子、部活動の外部講師、自転車の乗り方などが話題に上がりました。様々なご意見は、次年度の学校経営に生かしたいと思えます。また、5名の学校評議員さんには、3年間の任期を務めていただき、大変ありがとうございました。

中学生のアルバイトは、法律で禁じられています。

春休み中、家のお手伝いを行わせてください。